

I 学校教育目標		人権を尊重する精神を養うことを基盤とし、知・徳・体の調和がとれ、心豊かで将来にわたって生きる力を持ち、社会人として自立できる人間の育成を目指す。					
II 前年度に残された課題		III 本年度の重点課題				IV 来年度に残された課題	
①基本的な生活習慣の確立及び規範意識の醸成→挨拶など礼儀正しくよくできている。服装などでは、特定の生徒に乱れが見られ、家庭との連携を深め継続的な指導が必要。 ②教育相談体制の確立→教育相談週間が定着し、いじめの問題や悩みの相談に対しては比較的良好な評価であるが、生徒が相談しやすい環境においてはまだまだ課題がある。 ③学習意欲や自主的な学習態度の育成及び読書の習慣の向上→生徒が意欲や関心を持って学習や教育活動に取り組めるよう創意工夫した魅力ある授業の展開を図る。読書への興味付けとともに、時間の確保を図る。 ④生徒会活動や係活動等の活動内容の周知→様々な活動、取り組みについての情報提供の工夫を図る。 ⑤開かれた学校づくり→保護者や地域との繋がりに関して、取り組みの工夫。		①基本的な生活習慣の確立及び規範意識の醸成 ②教育相談体制の確立 ③学習意欲や自主的な学習態度の育成及び読書の習慣の向上。 ④生徒会活動や係活動等の活動内容の周知。 ⑤開かれた学校づくり				①基本的な生活習慣の確立及び規範意識の醸成→挨拶など礼儀正しくよくできている。家庭学習の定着を含め基本的な生活習慣の確立について家庭との連携を深め継続的な指導が必要。 ②教育相談体制の確立→教育相談週間が定着した。いじめや不登校の相談に対しては、生徒・保護者が相談しやすい環境においてはまだまだ課題がある。 ③学習意欲や自主的な学習態度の育成及び読書の習慣の向上→生徒が意欲や関心を持って学習や教育活動に取り組めるよう創意工夫した魅力ある授業の展開を図る。読書への興味付けとともに、時間の確保を図る。 ④生徒会活動や係活動等の活動内容の周知→様々な活動、取り組みについての情報提供の工夫を図る。 ⑤開かれた学校づくり→保護者や地域との繋がりに関して、取り組みの工夫。	
「1」(重点課題番号) 評価項目	[2]具体的達成目標と評価指標	[3]自己評価		[4]外部アンケート		[5]自己評価	[6]学校関係者評価
	具体的に、何を、いつまでに、どの水準まで、数値化	中間評価		児童生徒アンケートからの分析		最終評価	
	公表日 4月25日	評価日	実施日 12月4日	実施日 12月21日	評価日 12月21日	評価者人数 6人	
	公表方法 <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他	公表日 1月7日	公表日 1月7日	公表日 1月7日	公表日 1月7日	公表日 1月7日	公表日 3月5日
	評定	公表方法 <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他	公表方法 <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他	公表方法 <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他	公表方法 <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他	評定	公表方法 <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他
① ② ⑤	○生徒会、学級委員による週1回朝の挨拶運動の実施及び月1回の地域挨拶活動へ参加するとともに、毎日の交通安全指導の中で積極的に挨拶を交わす。 ○日々、積極的に生徒に関わりとともに教育相談間を年2回もつ担任が面談を行う。スクールカウンセラーの活用及び関係機関と連携し、生徒に寄り添い相談しやすい体制を確立する。 ○率先垂範。挨拶、正しい着こなし、時間を守る指導を全教師が共通理解をして指導し、規範意識の向上に努める。 ○スマートフォンや情報機器の使用法について家庭との連携を強化する。		○「生徒への声かけなどを通して関係作りに努めている」3. 9ポイント ○生徒の人間関係に配慮してよりよい学級作りに努めている」3. 8ポイント ○挨拶やきちんとした言葉遣いができるように指導している」4. 0ポイント ○「いじめや問題行動の早期発見、早期対応に努めている」3. 6ポイント それなりの成果は見られるが、教師には見えにくい「いじめ」の実態があるようで、一層、子どもたちとの関係作りに取り組みたい。	○「生徒への声かけなどを通して関係作りに努めている」3. 9ポイント ○生徒の人間関係に配慮してよりよい学級作りに努めている」3. 7ポイント ○挨拶やきちんとした言葉遣いができるように指導している」4. 0ポイント ○「いじめや問題行動の早期発見、早期対応に努めている」3. 6ポイント 生徒とほぼ同じ結果であった。それなりの成果は見られるが、教師には見えにくい「いじめ」の実態があるようで、一層、子どもたちとの関係作りに取り組みたい。	B	○「生徒への声かけなどを通して関係作りに努めている」4. 2ポイント ○生徒の人間関係に配慮してよりよい学級作りに努めている」4. 3ポイント ○挨拶やきちんとした言葉遣いができるように指導している」4. 4ポイント ○「いじめや問題行動の早期発見、早期対応に努めている」4. 4ポイント 生徒、保護者の結果に比べ高い値になっている。特に「いじめ」は顕著であり、教師には見えにくい「いじめ」の実態があるようで、一層、子どもたちとの関係作りに取り組みたい。	○「いじめや問題行動の早期発見、早期対応に努めている」は教職員、生徒、保護者の結果に差が大きい。特に「いじめ」は顕著であり、教師には見えにくい「いじめ」の実態があるようで、一層、子どもたちとの関係作りに取り組むべきである。 ○不登校生徒および別室学習生徒の対応、ピアサポートクラブ(不登校生徒の親の会)のさらなる充実。
③	○わかる授業、魅力ある授業づくりのための研究・研修に努める。 ○少人数授業を実施するとともに、毎日10分間の朝学習や放課後に補充学習を実施するとともに、長期休業中には教科書質問日をもつて、基礎学力の定着を図る。 ○総合的な学習の時間の充実を図る。(体験的・問題解決的学習) ○週一度、朝学習の時間を読書の時間		○「学力を付けるための取組に努めている」4. 1ポイント ○「通知表などを通して生徒の学習の達成度をわかりやすく示している」4. 2ポイント それなりの成果は見られるが、今後は一層の充実に取り組みたい。	○「学力を付けるための取組に努めている」3. 6ポイント ○「通知表などを通して生徒の学習の達成度をわかりやすく示している」4. 0ポイント 生徒評価と比べると低い値になった。保護者が実感できるような学力向上の取組を始めていきたい。	B	○「学力を付けるための取組に努めている」4. 1ポイント ○「通知表などを通して生徒の学習の達成度をわかりやすく示している」4. 4ポイント 生徒評価とほぼ同等の評価になった。学力学習状況調査の結果(市平均と比べて低い)を踏まえ、より具体的な取組を実施していきたい。	学力をつける為の取り組みを具体的にしていけるべきである。○読書活動の推進○基本的性格習慣の確立○家庭学習の定着など過程との協力体制を確立し推進していくべきである
④	○生徒会が中心となり、ボランティア活動(校区外クリーン活動の参加呼びかけや活動場所の拡充に努める。また、エコキャップ運動やプルタブ回収、ベルマーク運動への協力の呼びかけ)を行う。 ○生徒会や各委員会が、給食の時間に活動内容などについて放送を行ったりポスター掲示を行ったりして、生徒会や委員会の取り組みに全校的な広がりを持たせる。		○「学校行事等を通して、生徒に自主・自立の力を付けている」4. 2ポイント 高い数値でありさらに充実させていきたい。	○「学校行事等を通して、生徒に自主・自立の力を付けている」4. 2ポイント 高い数値でありさらに充実させていきたい。	A	○「学校行事等を通して、生徒に自主・自立の力を付けている」4. 7ポイント 高い数値でありさらに充実させていきたい。	学校行事を見るたびに「いい学校だな」と実感できる。さらなる充実を期待する。
⑤	○地域参加、地域貢献学習(異年齢集団との交流学習、クリーン活動の参加及び活動範囲の拡大)の取り組み。 ○学校の活動内容等の情報配信を積極的に行う。(校長メール・ホームページ・学校だより)の工夫。		該当項目なし	○「通信・メール・HPを通じて積極的に情報を伝えている」4. 5ポイント 高い数値でありさらに充実させていきたい。	A	○「通信・メール・HPを通じて積極的に情報を伝えている」4. 5ポイント 高い数値でありさらに充実させていきたい。	通信では校長の教育熱が、携帯メールでは学校情報がよくわかって評価できる。内容の充実と誰もがわかる表記記述の仕方により工夫が必要である。